

平成19年度 3号
2007年 6月1日

住み良い町づくりへ
ご意見・情報をお寄せください。

元気! 緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
発行人:多田 喜代則
編集:文化部会
記事原稿は:芥見東公民館ポストへ

防災訓練 備えあれば憂いなし 6月10日

—芥見東自主防災隊々長・多田 喜代則

災害は、ある日突然襲ってきます。

私たちや地域の被害を最小限に食い止めるには、住民自ら組織的に災害に立ち向かう手立てが必要で、それが自主防災隊です。隊員も住民も普段からその活動内容を理解し、防災訓練などを通じて納得しておくことが、いざという際の初動(すなわち、被害の最小化)を決めるポイントとなります。

芥見東自主防災隊は、自治会連合会本部役員と各支部の新旧自治会長・班長から編成され、それぞれに役割が決まっています(別刷り参照)。

したがって、自主防災隊員の方には、今一度、任務を確認され、常日頃、地震などの災害が発生した場合に、どう活動すべきか、近隣の要救助者の救出法などをイメージし、また、家庭で、自治会で話し合っておいてくださるようお願いします。 □■



不審者 地域の目と結束で追放しましょう

—柏台市営支部役員の方より

近頃、芥見東公民館周辺で、小学生を見かけると、急に車を止めて降り、「自分は警察官だ」と名乗って児童に安心を与え、写真を撮るなどの不審者が出没しているようです。

交番の方や青色回転灯パトの方々にもパトロールを強化していただいておりますが、地域住民の方々にも、児童が不審者から声を掛けられていたり、子どもたちがSOSを発した際には、どうか見過ごさず、声を掛けるなどの対応をお願いします。

誰もが安心できる、住み良い町づくりへ、地域の皆さまにご理解とご協力をお願いいたします。 □■



中学生 地域の一員として見守って

—藍川東中PTA会長・後藤 義広

日頃は、アルミ缶回収など、藍川東中学校PTAの活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。

思春期を迎える子どもたちのこの3年間は心も身体も大きく変化していきます。時にはその変化に対応できず、戸惑ったり、悩んだりもすることでしょう。しかし、私たちは親として、わが子から目を背けず、わが子と共に成長していきたいと思っています。

一方、地域の皆さま方の温かい目で育てられて、子どもたちも「安心・安全」に登下校し、地域ボランティア活動にも楽しく参加しています。今後も子らに、「地域の一員である」意識を強く持たせていきたい、温かく厳しく見守ってくださるようお願いします。 □■

地域行事 皆で楽しみ、意識を育む企画を

—東山支部役員の方より

地域の特に大切なテーマ(防災、防犯、老人、子ども)について、行事のたび毎に参加者が楽しみつつ、自分たちの問題としても気づくような工夫を重ね、実施していくことが望ましいと思います:

防災訓練 東山自治会は、北山地区と合同で臨みますが、現実の災害時はどうするか? 東山地区として、避難場所、家族状況の把握や役員の配置・分担などについて早急に話し合うことになりました。

敬老会 大人だけでなく、園児や小中学生の参加があれば、よりいっそう楽しく充実するのでは?

市民運動会 幅広い年齢層の参加により、次世代に引き継げる有意義な会に変えていく。

- ・防災・救護訓練を取り入れる
- ・老人と孫との組合せによるゲーム
- ・賞品は、多くの人に当たるように一防災用品など
- ・(次の夏祭りに備えて)盆踊りの講習を行なう □■



配布
大洞 4-81
東山 3-55
北山 18-372
モモン北 6-88
桜台 13-337
桜市 1-314
柏台 31-339
柏市 26-217
桐丘 23-200
桐市 6-43
紅葉 21-269
紅市 16-147
桜2P 1-26
〒230

「あなたも人の命が救えます」 AED(自動体外式除細動器)を「存し」て「すか?」死に至るような不整脈状態を正常に戻す携帯機器で、講習を受ければ誰でも扱えます。今は東部「ミセン」に設置→拡弁

鯉のぼり5月を見ても、幾人かの方から奇贈され、「6mもあり北山では電線にかかって42年間揚げられず、そろそろ捨てよう」と。青空に泳がせてやってくたせよ! (ある方の想いから)

交通課題 まちづくりの夢も膨らみます

——芥見東交通課題検討会委員・宇都木 好吉
今回、“足”の問題を抱える高齢者の代弁者として、交通課題検討会に参加させていただきました。



↑筆者
交通アンケートの分析に余念がない皆さん

当地は、市中心地から遠く離れ、高齢者や独り暮らしが他地域より目だって多く、狭捨山になりかねない。5年、10年先を考えると心寒くなります。

幸い、岐阜市はコミバス路線を拡大する方針ですので、今困っている足の弱者を優先的に考え、取組んでもらうよう、働きかけたいものです。

また、並行して、この町の活性化を考えなければ、と思います。それには若者を集める必要があります、

- ①中高一貫校を誘致する(1学年200名とすると、職員などを入れて千数百名の規模となる)。
- ②気楽に行ける文化会館を造る(浄水場跡地)。

様々な文化交流により人間関係を豊かにし、自然と融け合ったふるさとを造る。〈悲しみに優しさ〉、〈嬉しさに華やぎ〉、〈心に和らぎ〉を共有し合う、こんな癒される町になったらなあ・・・と夢は膨らみます。□■

自治会活動 「わが町のため」一点に

——芥見東自治会連合会副会長・杉山 利久

わが町の1年とともに、自治会連合会活動1年生もアツと云う間に終わりました。夢中で走った中にも感動がたくさんありました。

今の役員の素性(?)の一端を披露しますと:41歳から73歳まで、生まれも柳ヶ瀬、垂井、梅林、岐南町、美山町、大洞、美濃市、下呂、関、群馬県、大阪府、と様々な環境と経歴、そして考え方も違う人ばかり。それが実に素晴らしい人間集団なのです。

それぞれがこの奉仕の仕事を天命のごとく受け止め、誰一人不満を発しない。己の持つ能力を目一杯発揮し、一点の不足が生じれば、皆でサッとカバーする。この町のため、黙々と前進あるのみ。個性はあっても、自我はない。そのバランスが素晴らしい。私は、この感動ある限り、また1年、“不言実行”を貫こうと決意しました。 □■

スローライフ 皆さん、歩きませんか?

——東山支部・30代主婦の方から

爽やかな季節、小さな子どもにせがまれ、散歩する機会が増えました。今まで車中心でしたが、買い物や郵便局、公園へと子どものペースでゆっくり歩くと、いつもの道にも新しい発見が多くあるものです。

また、車では会釈を交わす程度だったご近所の方ともお話しする機会が増えました。会話を通して子どもの顔を覚えていただけることも、子どもの安全な暮らしにつながる気がして、ありがたく思っています。

さらに、歩行者や子どもの視点から、意外な危険箇所も分り、自分自身がドライバーとなった際、どんなことに注意したらよいか、再発見できることもありました。たまにゆっくり歩くこともいいものだと思えられる今日この頃です。 □■

悠・遊・湯 三田洞・神仏温泉につかって

——北山支部・増田 弘夫さん

三田洞の弘法さんに隣接する市営の神仏温泉、皆さん、ご利用されていますか?あの茶色の湯につかっていると血行が良くなり、足腰の痛みも消え、希望と元気が湧いてきます(60歳以上無料です)。

〈大塚所長さんにお話を聞きました〉三田洞泉は、北西約700mの田んぼの中にあり、平均温度15度の透明な冷泉です。温泉は、毎日入れ替え、朝6時からボイラーで加温されますが、この数時間のうちに透明な泉は真茶に変色します。・・・あ～ら不思議・・・

成分表によると、鉄分が成分中29%も占めているため酸化が進む他、何か神仏の魔力も潜んでいるのではないのでしょうか? この三田洞泉は、長良川温泉街にも送られて、岐阜の観光に役立っています。

さて、私たちの町を流れる山田川の源流を見てみましょう・・・岐協苑付近や北山2丁目の山浴いの川



底をご覧下さい。赤茶けているではありませんか。もしかして、温泉の成分が含まれているかも知れません。・・・夢・・・

☆昨年の65歳以上の交通死亡事故は、44%が道路横断(不注意)と自転車走行によるもの。北山2号線沿い通行は要注意